



忘れては ならないこと

1945年8月6日午前8時15分
広島

1945年8月9日午前11時2分
長崎



(四国五郎画 画像提供：四国光氏)

原爆投下以前の広島
(1938年松本若次氏撮影)



被爆後の
広島県産業奨励会館
(原爆ドーム)

建物疎開作業中、被爆した12歳、13歳の少年少女の遺品

広島平和記念資料館（原爆資料館）所蔵

大下靖子（おおしたのぶこ・13歳）さんの夏服

朝日俊明君（12歳）の学生服



谷口勲君（13歳）の学生服



国立広島原爆死没者追悼平和祈念館

平成29年度 核兵器廃絶市民講座
ヒロシマ・ナガサキの
メッセージを
世界にそして未来世代に
(核兵器のない平和な世界をめざす
平和首長会議の活動)

2017年7月22日(土)

(公財) 広島平和文化センター
理事長 小溝 泰義



長崎の被爆

広島市の被爆3時間後の惨状
(8月6日午前11時すぎ、爆心地から2.5km御幸橋)



大火災の爪あと (8月7日岸田貢宣氏撮影、爆心地から500mの本通りから爆心地方向を見る)



負傷者であふれる救護所
(8月7日川原四儀氏撮影、
爆心地から1,200m
第二陸軍病院収容テント内)





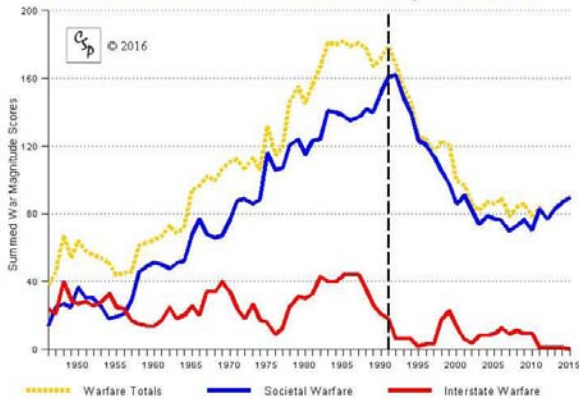


平和首長会議

- ▶ 1982年6月に広島市長がニューヨークの国連本部で提唱

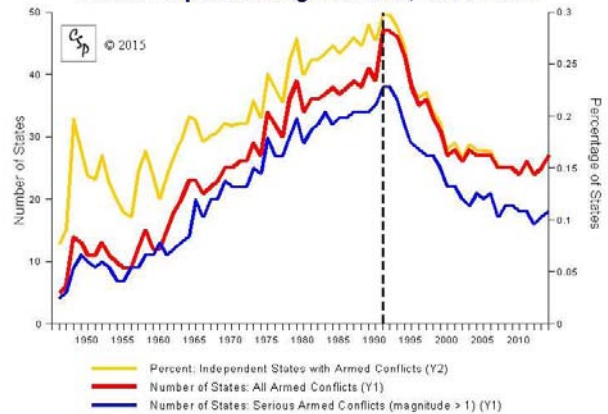


Global Trends in Armed Conflict, 1946-2015



«Global conflict Trends»
From website of Center for Systemic Peace
426 Center St. N, Vienna, VA 22180 USA |
202.236.9298 | © CSP 2014

States Experiencing Warfare, 1946-2014



■世界の核兵器の現状(核弾頭保有数)

国 名	2015年 (平成27年) 1月	2016年 (平成28年) 1月	2017年 (平成29年) 1月
米国	7,260	7,000	6,800
ロシア	7,500	7,290	7,000
英国	215	215	215
フランス	300	300	300
中国	260	260	270
インド	90-110	100-120	120-130
パキスタン	100-120	110-130	130-140
イスラエル	80	80	80
北朝鮮	6-8	10	10-20
合計	15,850	15,395	14,935

ストックホルム国際平和研究所(SIPRI)年次報告書による推定値をまとめたもの



「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、
人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」
(UNESCO憲章 (1945.11.16採択)前文より)



原爆ドームは、
1996年12月
5日UNESCO
世界遺産に登録。



安らかに眠って下さい
過ちは繰返しませぬから

ラッセル・アインシュタイン宣言 (1955年)

「私たちは、人類として人類に向かって訴える——
あなたがたの人間性を心に止め、そしてその他のことを
忘れよ、と。」

湯川・朝永宣言「核抑止を超えて」 (1975年)

「私たちは、何よりも第一に核抑止という考え方を捨て、
私たちの発想を根本的に転換することが必要である。」

「私たちの究極目標は、人類の経済的福祉と社会正義が
実現され、さらに、自然環境との調和を保ち、人間が人間
らしく生きることのできるような新しい世界秩序を創造する
ことであると考える。」

「さらに私たちは、核軍縮の第一歩として、各国政府が
核兵器の使用と核兵器による威嚇を永久かつ無条件に
放棄することを要求する。」



平和首長会議 Mayors for Peace



- ▶ 設立 1982年
- ▶ 構成 世界162か国・地域 7392都市(2017年7月1日現在)
- ▶ 会長 広島市長



Mayors for Peace

核兵器廃絶のための緊急行動 — 2020 Vision —



- ▶ 開始 2003年10月
- ▶ 目標 2020年までに全ての核兵器を廃絶

<2020年が大切な理由>

- 一人でも多くの被爆者が核兵器のない世界を祝えることを願う目標設定
- 子どもたちに核兵器のない世界を残すのは私たちの世代の義務

第8回平和首長会議総会（2013年8月・広島）で

以下の文書を採択: (<http://www.mayorsforpeace.org>)

▶ ヒロシマアピール

国連及び全政府に対して次の措置を講じるよう求める:

●原爆の悲劇への理解を深め、被爆者の願いを発信するため、広島・長崎を訪れること。

●信頼醸成措置を確立し、核兵器の不使用に万全を尽くすこと。

●核兵器禁止条約の交渉を速やかに開始すること。

●核抑止を脱却する人類家族の一員としての同朋意識に根差す新たな安全保障体制を実現するよう取り組むこと。

▶ 行動計画(2013-2017)

●加盟都市を拡大し、リーダー都市を中心とする内外のネットワークを強化（赤十字、教育者、青年団体、女性団体、環境団体、文化団体等多様な市民社会のパートナーと連携）。

●核兵器のない平和な世界に向けた国際世論の形成（原爆展、被爆樹木の植樹、広島・長崎講座等）。

●「核兵器禁止条約」の早期実現を目指す諸活動を推進。



在大阪米国総領事公邸の庭に植樹された被爆樹木二世の苗木（あおぎり）が冬を越えて、ケリー国務長官広島訪問にあわせ本年4月10日に芽吹いた。

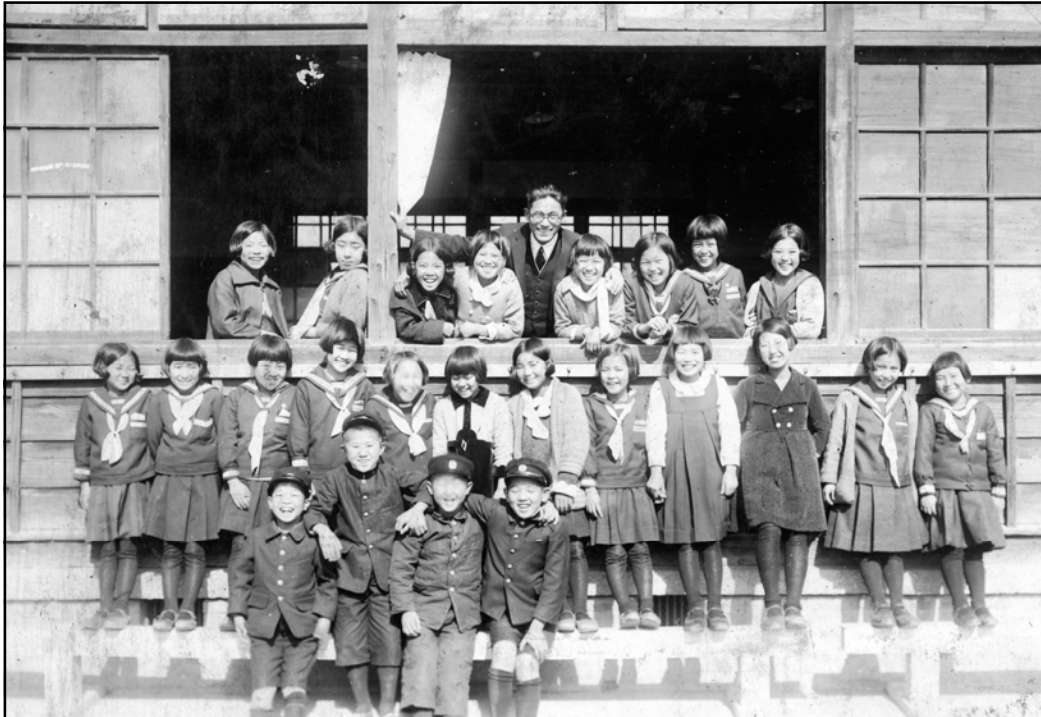




広島・長崎のメッセージ：

「このような思いを他の誰にもさせてはならない」
原爆による言語に絶する悲劇から紡ぎ出された核兵器
廃絶への訴え。誰人も平和に生きる権利があるとの主張。





ファイル名
K-PH01711 (8650)

幟町小学校

西坊義信氏 寄贈



Above Photo : U.S.Army
Courtesy : Hiroshima
Peace Memorial Museum

下の写真は
鈴木六郎氏撮影
鈴木恒昭氏提供
(広島平和記念資料館所蔵)



横たわる負傷者

8月7日 撮影／尾糠(おぬか) 政美(まさみ)

提供／広島原爆被災撮影者の会



広島赤十字病院で手当を受ける少年

8月9日～12日 千田町一丁目

爆心地から1,500m

撮影／宮武(みやたけ) 甫(はじめ)

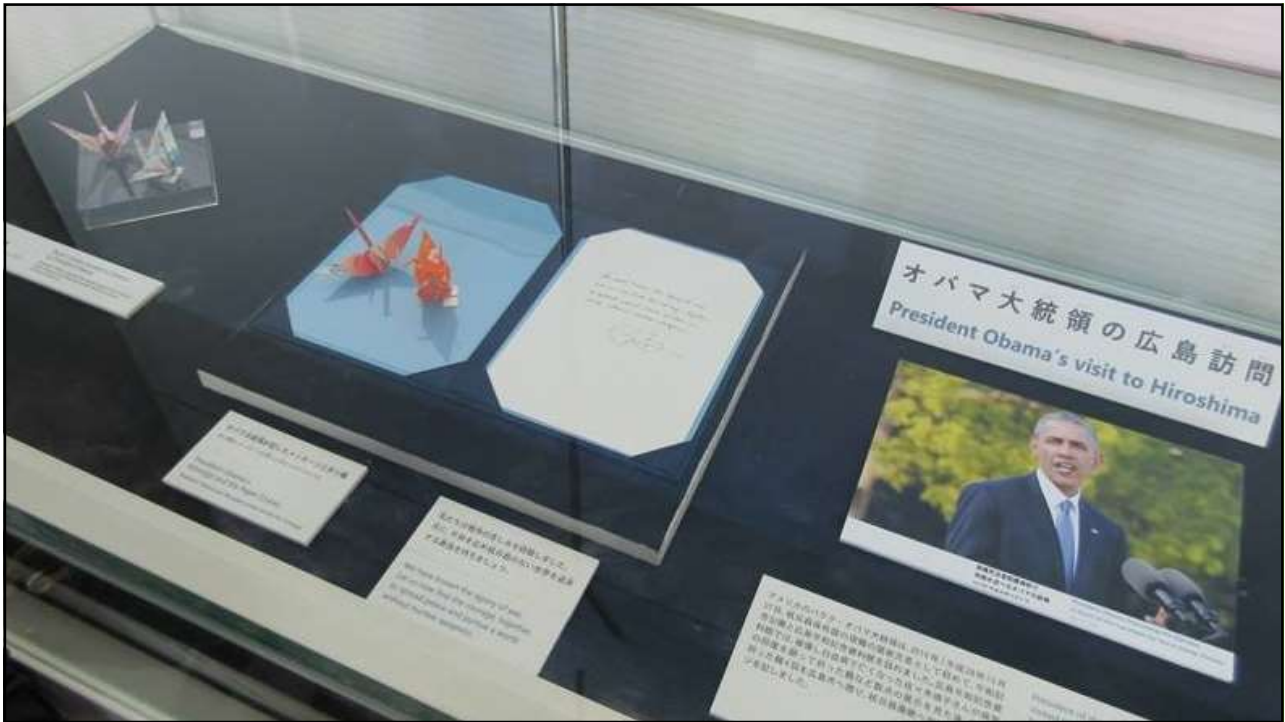
提供／朝日新聞社



被爆前の広島町の並みと水遊びする子供たち







平和首長会議加盟都市数の推移

平成29年(2017年)7月1日現在

